

(別紙4(2))

事業所名 : グループホームときわ苑

作成日 : 平成 26年 12月 4日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	ヒヤリハットや事故の報告記録がない。運営推進会議で報告、意見交換がない。	会議で事故やヒヤリハットなども報告して運営の透明性を図り、委員からの助言を得る事、及び議事録の公表や利用者が参加しやすい工夫の取り組みが望まれる。	事故・ヒヤリハットはケース記録と区別し独自の記録を作成する。日2回の申し送り、月1回の職場会議、隔月の運営委推進会議で議題に設定する。その都度情報共有し意見交換を行い、対策を確認する。議事録はその都度記録に残し全体に公表する。	6カ月
2	52	事業所内に利用者と職員の共同作品が所狭しと展示されており、メインがはっきりしない。	利用者にとって、季節感や家庭的な雰囲気を感じられるような、共有空間の環境づくりの工夫が望まれる。	利用者と一緒に作成した作品の展示を行う際に、意識的に季節の確認、イベントの予定、自宅での様子等聞き取りつつ、希望の飾り付けを行う。また展示物は責任者を決めて定期的に片づけることにする。	6ヶ月
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。